

令和6年度 学校評価アンケートについて

長崎市立福田小学校

1 教育目標

心を満たし、「夢や願い」を叶える学校  
合言葉 見つめよう、認めよう<自分も相手も>

2 学校経営方針

目指す学校像  
○ しつとりと落ち着いた学校  
○ 子ども・保護者・教職員・地域が互いのことを大切にする  
目指す児童像  
○ 「こと（事）」課題を自分事としてとらえ、自分のよさを生かしながら粘り強く解決に取り組む子ども  
○ 「たん（胆）」心身の安全・健康を意識し、自分の長所を臆せず発揮する子ども  
○ 「ひと（人）」社会の一員であることを自覚し、よりよい社会との関わり方を身に付けようとする子ども  
目指す職員像  
○ 子どもが主体的に学ぶ教育活動を展開する教職員  
○ 子どもの学びと社会との関連を意識した教育活動を展開する教職員  
○ 子どもが安全・健康で生きる喜びを味わえる教育活動を展開する教職員  
○ 自らも学習者として、学びの姿勢を続ける教職員

3 重点目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 健やかな心と体を育成
- (3) 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- (4) 子どもが安全・安心に学べる教育環境の整備

4 自己評価

| 領域    | 項 目               | 質 問 内 容                   | アンケート結果 (R5) |       |       | アンケート結果 (R6) |       |       | 分析及び改善策                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------|-------------------|---------------------------|--------------|-------|-------|--------------|-------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       |                   |                           | (肯定的割合・%)    |       |       | (肯定的割合・%)    |       |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   |                           | 児 童<br>生 徒   | 保 護 者 | 教 職 員 | 児 童<br>生 徒   | 保 護 者 | 教 職 員 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 学校経営  | 教 育 目 標           | 教育目標を達成している               | 93           | 93    | 100   | 94           | 95    | 94    | 校務の縮減・効率化等の業務改善については、行事の精選、日課の見直し、フレックスタイム制度の活用推進、通知表の見直し等の業務改善に取り組んだことで、教職員の肯定的評価が高まった。しかし、教職員は業務の多さと人員不足における負担感を感じており、引き続き、業務の機能性を高めるとともに平準化を図っていかねばならない。                                                                                                                                            |
|       | 学 校 の 雰 囲 気       | 明るく楽しい雰囲気である              | 93           | 96    | 100   | 91           | 96    | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | 組 織 運 営           | 校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している   | ／            | ／     | 93    | ／            | ／     | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | 業 務 の 改 善         | 校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している   | ／            | ／     | 67    | ／            | ／     | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 心の教育  | 生活・生徒指導           | ルールやマナーを身に付けている           | 93           | 85    | 60    | 87           | 86    | 76    | 全職員で子供・保護者・地域を大切にし、互いの欲求を満たしあうことで、しつとりとした落ち着いた学校づくりに努めてきた。生活指導上これまで大きな問題もなく、落ち着いて学校生活を送れていることに安心している。<br>全体的に児童・保護者共に肯定的割合が高まっていることから、学校の取組について一定の評価をもらえたと安堵している。さらに子どもにとって安心できる学校となるために、心の教育の充実を図っていきたい。<br>昨年度、教職員の肯定的割合が低くなっていたルールやマナー、挨拶については、肯定的割合が高まった。今後も子供たちを励ますとともに、寄り添いながら、好循環が生まれる指導を行っていく。 |
|       |                   | 挨拶をよくしている                 | 95           | 80    | 67    | 93           | 79    | 88    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   | 「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)    | 92           | 84    | 93    | 82           | 85    | 82    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   | 教職員は悩みや相談に親身に対応している       | 93           | 92    | 100   | 94           | 94    | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | いじめ防止対策           | 学校はいじめ防止のための対策をとっている      | 91           | 86    | 100   | 84           | 87    | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | 人 権 教 育           | 生命や人権を尊重しようとする心が育っている     | 98           | 91    | 100   | 98           | 93    | 88    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | 平 和 教 育           | 平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている | 96           | 92    | 87    | 97           | 91    | 88    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | 特 別 支 援 教 育       | 学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている     | 95           | 89    | 87    | 96           | 90    | 94    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   |                           |              |       |       |              |       |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 確かな学力 | 特 色 あ る 学 校 づ く り | 伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている   | 91           | 96    | 100   | 88           | 99    | 100   | 一人一台端末の家庭への持ち帰りが日常になったことで、家庭学習の習慣化は高まると思われたが、質の面で取組がアバウトになり、主体的な学びにつながっていない。これが、子供・教職員の評価が落ち込む結果となったと考えられる。端末の長時間使用については、教職員も保護者も課題を感じるところであり、今後も改善を図りながら取り組んでいく。                                                                                                                                      |
|       | 学 習 指 導 ・ 教 育 課 程 | わかりやすい授業を行っている            | 96           | 94    | 93    | 95           | 91    | 100   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   | 家庭学習の習慣が身に付いている           | 94           | 80    | 80    | 88           | 78    | 71    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       | キ ャ リ ア 教 育       | 将来の自立に向けて適切に指導している        | 98           | 87    | 93    | 96           | 89    | 94    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|       |                   | 長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである    | 96           | ／     | ／     | 95           | ／     | ／     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

|         |                        |                              |    |    |     |    |    |     |                                                                                                                                                  |
|---------|------------------------|------------------------------|----|----|-----|----|----|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健やかな体   | 保 健 ・ 衛 生              | 衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている       | 93 | 94 | 100 | 93 | 93 | 100 | コロナ禍後、児童の体力の向上が課題であったが、昨年度からの重点的な取組が浸透し、意識は高まっている。しかし、体力調査の数値としては、体力が向上しているところには至っていない。今後も継続して取り組む必要を感じている。<br>今後も家庭と連携を図りながら、子供の健やかな体の成長に努めていく。 |
|         | 体 力 向 上                | 早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている | 87 | 84 | 93  | 85 | 82 | 100 |                                                                                                                                                  |
|         |                        | 体力向上に努めている                   | 88 | 92 | 93  | 87 | 89 | 100 |                                                                                                                                                  |
|         | 食 育                    | 食に関する教育活動を行っている              | 97 | 92 | 93  | 94 | 95 | 100 |                                                                                                                                                  |
|         |                        |                              |    |    |     |    |    |     |                                                                                                                                                  |
| 信頼される学校 | 安 全 管 理                | 児童生徒の安全に気を配っている              | 96 | 95 | 93  | 93 | 97 | 93  | 学校HP、tetoru等を活用して、学校の状況や異常気象による登下校の安全、交通事故の防止等、安全指導に係る共有事項を発信することに努めてきたことで安全管理、情報提供については一定の評価を得ている。<br>今後も育友会や地域とできる限りの連携を図りながら信頼される学校づくりに努めていく。 |
|         | 情 報 提 供                | 学校の状況は通信やHP等で知ることができる        | 94 | 90 | 100 | 92 | 99 | 100 |                                                                                                                                                  |
|         | P T A ・ 地 域<br>と の 連 携 | 学校はPTAや地域との連携がとれている          | 76 | 99 | 93  | 71 | 98 | 100 |                                                                                                                                                  |
|         | 職 員 資 質 向 上            | 研修が充実し、資質が向上している             |    |    | 100 |    |    | 93  |                                                                                                                                                  |
|         |                        |                              |    |    |     |    |    |     |                                                                                                                                                  |
| 教育環境    | 環 境 整 備                | 教育環境が充実し、整備されている             | 88 | 94 | 87  | 84 | 93 | 75  | 教育環境については、施設の老朽化にあっても効率化を図りながら環境整備に努めていく。                                                                                                        |
|         | 職 場 環 境                | 学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる    |    |    | 93  |    |    | 94  |                                                                                                                                                  |

## 5 保護者の皆さまからいただいたご意見への回答

|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 1 | 学校の取組が分からないため評価項目に回答しづらいというご意見<br>学級通信のtetoruを活用した情報発信を充実させてほしいというご意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |  |
| A | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育活動の情報については、現在、学校ホームページにおいてその発信に努めているところです。各ご家庭でも、今後も福田小ホームページにアクセスをお願いします。</li> <li>○ 学校評価で回答しにくい項目については、空欄をお願いします。</li> <li>○ 学級からの連絡には、今後もtetoruの利活用を進めていきます。</li> <li>○ また、学級通信については、業務過多の状況の中、学校も働き方改革が進められており、効率のよい働き方を模索しています。そうした中、授業の準備や教材研究、子どもたちと触れ合う時間の確保を優先せざるを得ない状況にあります。その分、ホームページでの発信を充実させていきたいと思ひます。</li> </ul> |  |
| 2 | 登下校の安全確保のご意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |
| A | ○ 子どもたちの登下校の安全確保については、学校では今後も校長の立哨指導や安全指導を続けていきますが、日ごろの見守り、交通指導については、保護者や地域の皆さんにご協力いただくことになります。学校からも子どもを守るネットワークなど地域の機関にも協力を呼び掛けていきます。                                                                                                                                                                                                                                       |  |
| 3 | 給食のグループでの会食について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| A | ○ 2学期の職員会議でもグループでの会食の再開について話題に上がったところでしたが、全国的なインフルエンザの流行により、実現できていないところです。感染状況を見ながら再開を目指していきます。                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |
| 4 | いじめを起こさない学校、子どもたちに上下関係を作らせない指導法についてのご意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |  |
| A | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校としても「いじめを起こさせない」ことを全職員で共通理解のもと取り組んでいるところです。いじめは往々にして子どもたちの心が不安定な状態のときに起こります。今後も家庭や地域の力も借り、連携しながら子どもたちの心の安定を図ってきたいと思ひます。</li> <li>○ 子どもたちの人権を保障すること、教師自身が人権感覚を高めていくことについて全職員で確認しました。</li> <li>○ 今後の指導の在り方について全職員が共に考え、誤解を生まないような指導に取り組んでいきます。</li> </ul>                                                                           |  |
| 5 | 家庭学習に関するご意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
| A | ○ 子どもたちの学力の定着においては、家庭学習の充実についても協力していただかなければなりません。ただ、内容について形骸化しないように検討していきます。また、国も主体的に学ぶ児童の育成を目指しているところです。学校では、子どもたちが自分たちで見つけた課題を探究していくような家庭学習に進化させていく必要があると考えているところです。                                                                                                                                                                                                       |  |
| 6 | クロームブックの持ち帰りについてのご意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |  |
| A | ○ 一人一台端末が実現し、授業及び家庭学習での使用を積極的に推し進めているところです。学校では、2学期末の職員会議で、子どもたちの負担軽減を考え、学校で使用しないときには、持ってこないでもよいように声掛けを行うことを共通理解しました。特に、低学年においては体への負担が大きいことから、早急に手立てを打っていきます。また、教科書等を学校で保管するなどして対応についても継続していきます。                                                                                                                                                                             |  |

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>7 学校環境衛生に関するご意見</b>     |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内の環境美化は、衛生上放っておくことはできませんが、校舎の規模と児童数を考えると、体育館掃除に割り当てる人数も限られているのが現状です。現状をご理解いただくとともに、社会体育に関しては、今後も環境整備の協力をお願いします。</li> <li>○ 古いながらも環境整備については努力をしているところではありますが、行き届いていないのが現状です。今後、育友会と共働して清掃活動を検討するなど、保護者の皆さまにも協力を呼びかけたいと思います。害虫対策は実施していきます。</li> </ul> |
| <b>8 学校施設の老朽化に関するご意見</b>   |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の改修など学校としても市に申請を挙げているところですが、多くの項目で回答が来ていない状況にあります。裏門の改修については、先日、地域センターから改修の認可が下りたとの連絡を受けました。学校では、引き続き近づくことがないよう指導を続けますが、社会体育等で利用する際にも十分注意するように声掛けとおとなの見守りをお願いします。</li> </ul>                                                                       |
| <b>9 外灯などの地域施設に関するご意見</b>  |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校では、子どもを守るネットワークとも連携をとりながら申請していきますが、地域で危険を感じる場所については、地域から声をあげていただくのが一番だと思います。ぜひ、お住いの地区の自治会長さんにお願  いしてください。</li> </ul>                                                                                                                               |
| <b>10 地域行事や育友会についてのご意見</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遊ぶうデーやふれあい会等の行事の詳細についての質問がありました。主催が学校ではない行事については、学校からは、案内を配付するのみとなりますので、配付物については常に確認をお願いします。また、育友会の在り方についての質問もありましたが、こちらも育友会総会等で育友会へご提案ください。</li> </ul>                                                                                              |
| <b>11 通級指導指導に関するご意見</b>    |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先日お知らせしましたが、通級指導教室の開設については、希望者の人数が基準を満たしていなかったため、来年度の開設申請は見送りました。しかし、個に応じた支援を充実させるためには必要なものです。来年度以降も開設に向けて動いていきます。</li> </ul>                                                                                                                        |
| <b>12 修学旅行費などの徴収方法について</b> |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| A                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご存じの方もいらっしゃると思いますが、学校徴収金については、文部科学省が「基本的に学校以外が担う業務」と示しています。そこで、ようやく来年度からその業務を市が担うことになりました。しかし、年度途中に発生する学校徴収金については、その対象とはならないため、保護者の方の有志にお願いしたいと考えているところです。</li> </ul>                                                                                |

## 6 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

- 昨年度は、学校行事や地域行事がコロナ前の状態に戻っていく中で、業務の改善に対する教職員の負担感は、増していたと考えられる。しかし、今年度は校務の縮減・効率化・改善に向けて、積極的に取り組んだことである程度解消されたように思う。引き続き、機能性を高めるとともに業務の平準化を図っていかなければならない。
- 学校目標にも示してある、全ての人の心を満たすために、教職員が児童一人一人の理解、保護者理解に努めてくれた。休み時間には、児童と一緒に遊ぶ教職員も多く、児童の心の安定につながっている。
- 確かな学力の定着については、クロームブックの利活用を図りながら改善していく必要がある。喫緊の課題と考えている。

## 7 学校関係者評価

- 教師の負担軽減に向けて業務改善に取り組んでいくべきであるが、学校での子どもたちの様子を伝えていく努力は今後も必要である。
- 体験不足からか、子どもたちの想像力が不足しているように感じる。指示を受けたことはできるが、自分で考えて動ける子どもが減少してきているように感じる。
- クロームブックやスマートフォンの普及により、文章をじっくり読む機会が減少し、流し読みをする子どもが増えているのではないか。
- 月曜の登校時や金曜の帰宅時には、たくさん荷物を抱えた子どもを見かける。子どもたちの負担を減らすため、持ち物の重量を減らす努力が必要である。

## 8 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- 学校に好循環を生み出す業務改善に今後も取り組んでいく中で、学校HPや通信などで、子どもたちの様子を伝えていく努力を続けていく。
- 友達にかけける言葉やコミュニケーション場面で、自分本位の言動からめごとに発展する場面を多く目にする。想像力を働かせられる児童の育成について全職員で協議し、児童の想像力を高めていく。
- 文章を読み取る力の低迷は、本校の子どもたちの課題である。図書館司書の力を借りながら、学校での読書の時間の充実を図るとともに、家庭への啓発にも努めていく。
- 2学期末の会議で持ち物を減らす対策を取っていくことを全職員で共有した。取組が形骸化しないように年度当初に全職員で確認し徹底していく。

たくさんの励ましのご意見、温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。

今後もよりよい学校づくりに向けて、全職員で取り組んでまいります。その実現には、保護者の皆さまのご協力が欠かせません。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。